

今こそ！笠間育ち⑦

安心、新鮮、おいしいを支える地元農業の紹介コーナー。食の安全が第一に求められ、農産物への関心もますます高まる今こそ、地元農家の実力発揮のとき！



◆萩野谷建夫さん（小原）

水稻で特別栽培農産物エコファーマーを取得し、コシヒカリ、アキタコマチ、ユメヒタチを栽培している萩野谷さん。「ご飯、お米は日本の食文化に欠かせないもの。古来より引き継がれた文化を継承していきたい。」と栽培歴40年以上にして、なお意欲を語っていました。



▲かさまの「う米」（コシヒカリ、1等米）

笠間のブランド米、「かさまの粋（すい）」・「かさまのう米（まい）」。笠間地域の生産者と行政で組織される笠間ブランド米生産協議会で商標登録されている特別栽培米（※）です。ブランド化による産地の確立と、付加価値を高めた有利販売を推進しています。

（※）農薬や化学肥料を削減するなど一定の要件を満たして生産された農産物を、特別栽培農産物として茨城県が認証する制度。



このコーナーで紹介された生産物については、本所農政課（内線525）にお問い合わせください。

うまい！ 笠間の米

「瑞穂の国」（意味：みずみずしい稲穂が多く実る国）という美しい言葉があるほど、日本が世界に誇る主食、お米。市内でも、色づいた稲が広がる田、稲刈り作業と、のどかな秋の風景をあちらこちらで目にします。市全体の作付面積は2,200㌦。収穫量は10,100ト。近年、米の消費拡大から、米粉を使ったパンや麺なども注目されていますが、おいしい笠間の新米を、まずは炊きたてご飯で味わってみませんか。

実るほど頭を垂れる稲穂かな。▶

市民憲章

わたしたち笠間市民のねがい ～笠間市民憲章～

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

平成19年1月1日制定

【広報ギャラリー】市民の皆さんの作品を募集しています

「広報かさま」では、絵画・書道・俳句・短歌・写真・イラストなど、皆さんのお気に入りの作品を紹介しています。住所・氏名（ペンネームの場合、本名も併記）を記入してお送りください。

申込み・問合せ先：〒309-1792 笠間市中央3-2-1 笠間市役所市長公室秘書課 広報広聴グループ（内線224）

人口と世帯数（常住人口9.1 現在）

| | |
|------|--------------------------|
| ●人口 | 80,458人（-102人） |
| ●男 | 39,362人（-44人） |
| ●女 | 41,096人（-58人） |
| ●世帯数 | 27,972世帯（-34世帯） （前月比） |

○広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。お問合せは秘書課（内線225）まで。



再生紙を使用しています。

○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。アドレス
<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/>

